

「総合計画タウンミーティング」意見の概要と市の考え方

平成30年5月12日（土）から5月19日（土）までの間、市内6会場で基本計画骨子案に係る意見交換会を行ったところ、以下のとおり意見がありました。

意見の概要と意見に対する市の考え方を公表します。

○参加者数：75人

○意見数：71件

表中の「区分」

○	意見の全部または一部を基本計画素案に反映したもの (計画案に記載はないが、既に事業を実施しているものを含む。)	46件
□	意見を基本計画素案に反映しなかったもの (今後検討するが、基本計画素案へ反映していないものを含む。)	8件
—	基本計画素案への反映を必要としないもの	17件

	日 時	会 場
第1回	5月12日(土)午前9時30分から午前11時30分まで	千代田公民館
第2回	5月12日(土)午後2時00分から午後4時00分まで	四街道公民館
第3回	5月13日(日)午前9時30分から午前11時30分まで	旭公民館
第4回	5月13日(日)午後2時00分から午後4時00分まで	わろうべの里 多目的ホール
第5回	5月19日(土)午前9時30分から午前11時30分まで	吉岡小学校 多目的室
第6回	5月19日(土)午後2時00分から午後4時00分まで	市役所5階 第1・第2会議室

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
1	第1回 (千代田公民館)	基本計画 全般	市長は「住みよい、住みたいまち」を掲げているが、計画を策定する上で、人口増加がみられる自治体の取り組みなど優良事例等として参考になっているか。 四街道市も近隣自治体からの転入を促す施策をすべきであり、優良事例を参考に、四街道市に移住するメリット等を意識した施策づくりをするべき。	人口が増加している自治体については、その自治体の子育て施策などの取り組みのほか、近接自治体の取り組みや不動産価格等の差にも着目し、調査・分析に努めているところです。人口増加がみられる自治体は、多くの企業が立地し、普通交付税の不交付団体となっているところもあり、このような自治体では、充実した子育て支援がなされているところです。本市は、財政状況が厳しいため、行財政改革をより一層進める必要があると考えています。	○

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
2	第1回 (千代田公民館)	基本計画 全般	<p>市民が住みたいと思うまちは、子育て支援が充実しているところで、環境、景観が良いところではないかと考える。市内には、大型の広告が多数ある。無ければ良いまちなのに、条例等で規制をかけ、景観のために広告看板を整理する必要があるのではないかと。</p> <p>市内の一部に「ゾーン30」の指定があり、30km制限になっているが、周知が行き届いていない。すべての団地内の道路を、「ゾーン30」にすべきではないか。舗装面の色を変えるなど、運転手がわかるようなものにした方がよい。</p>	<p>市内で屋外広告物を設置する場合は、「千葉県屋外広告物条例」に基づく届出が必要です。ただし、現状では条例に関係なく広告物が設置されているケースも見受けられます。</p> <p>「ゾーン30」については、舗装部の着色や路肩を広げる等の取り組みを市が行い、併せて、公安委員会が速度規制を行っています。警察との協議の中で、範囲を定め、自治会との協議を経て指定しており、生活、通学の安全性を高める取り組みとして順次進めています。</p>	○
3	第1回 (千代田公民館)	基本目標2 (施策12)	<p>庁舎の建て替えについて、防災拠点であるとともに市民に親しみやすい施設として頂きたい。例えば最上階に回廊を作っていただきたい。他の市役所や県庁にも回廊があるので、検討してほしい。</p>	<p>新庁舎は4階建てで、回廊とはなりません。4階に議会の機能を持たせ、市民ロビーを整備する予定です。</p>	○
4	第1回 (千代田公民館)	基本目標2 (施策14) 基本目標5 (施策34)	<p>市内で特に高齢化が進んでいる。中でも千代田地区は特に進んでいることから、事故が起こる前の対策が重要である。</p> <p>高齢者は、車を避ける動作ができていく方も多く、「ゾーン30」の取り組みは、是非推進していただきたい。</p>	<p>「ゾーン30」については、舗装部の着色や路肩を広げる等の取り組みを市が行い、併せて、公安委員会が速度規制を行っています。警察との協議の中で、範囲を定め、自治会との協議を経て指定しており、生活、通学の安全性を高める取り組みとして順次進めています。</p>	○
5	第1回 (千代田公民館)	基本目標3 (施策16)	<p>グローバルな世界で通用するためには、外国人教師による英会話の授業を行うことが重要である。ディベート形式や自分の考えを作っていける授業などに取り組んでいった方が若者には役立つのではないかと。</p>	<p>本市では、旭中学校区の4小学校が英語教育推進モデル校に指定されるなど、英語教育の充実を図っています。今年度で、旭中学校区での研究が一段落するので、全市的な展開を検討しています。</p> <p>また、ディベートについては、国の新学習指導要領でも重要視されていることから、意見交換をして結論を導き出すものとして、取り入れていきたいと考えています。</p>	○
6	第1回 (千代田公民館)	基本目標3 (施策16)	<p>帰国子女の児童生徒に対し、外国人教師を雇用した方がよい。</p>	<p>外国語教育については、現在、英語専科教員を配置し、学級担任と連携して指導を行っています。今後は、英語を母語とする方たちを採用することも検討しています。</p>	○

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
7	第1回 (千代田公民館)	基本目標3 (施策21)	市文化センターなどの公共施設維持には、メンテナンスが必要であり、費用をかけていくべき。四街道市で観光というが、四街道市は農業が中心である。観光より、他に金をかけるべきではないか。	本市では、公共施設等総合管理計画を作っており、今後公共施設の床面積を20%削減し、適正配置を進めていきますが、維持管理は重要と考えています。文化センターに関しては、耐震工事と改良工事を予定しており、施設を長寿命化していきたいと考えています。 本市の産業のうち、農業は後継者が少なく、耕作放棄地が多くなっています。その農業資源を観光に活用するため、市では、農業体験として東京駅からのバスツアーについても試行的に実施しており、icoba四街道1丁目と連携する取り組みのほか、落花生「おおまさり」のオーナーになっていただく取り組みも行っています。	○
8	第1回 (千代田公民館)	基本目標4 (施策26)	ごみの有料化の件は、賛成である。医療費も全額負担で良いのか。基本的には受益者負担ではないか。有料になると反対運動が起こるが、市民の意識改革も必要だと思う。	家庭ごみに関しては、可燃ごみ、プラスチック、ペット、資源ごみ等細分化しており、現在、適切なごみ袋のサイズを検討しています。近隣の事例をみると、1～1.5円/リットル、30円/30リットル程度を想定しており、ごみの有料化により、リサイクルとごみの減量の効果も期待されます。	○
9	第1回 (千代田公民館)	基本目標4 (施策26)	ごみについては、そのうちの何%が市に入るのか。価格は決定したのか。	市がごみ袋を作り、小売店に売るため、歳入として全額市に入ってきます。しかし、経費はすべて歳出となるため、その全てが利益にはなるわけではありません。価格等については、今後説明会を開催していきます。	○
10	第1回 (千代田公民館)	基本目標5 (施策35)	公共交通網の整備の件について、東葉高速鉄道が勝田台駅まで整備されているので、これを四街道まで延伸できないか。鉄道整備に関する国の審議会があるが、要望はできないのか。	京成勝田台駅からの東葉高速鉄道の延伸については、過去、要望を行った経緯があり、運輸政策審議会への働き掛けも行ったが、計画には位置付けされませんでした。千葉県内の鉄道事業は、成田新高速鉄道整備以降は、運輸政策審議会に受け入れられていないのが現状で、他市も延伸を断念している状況です。人口減少社会を迎え、新線整備は難しいという結論になっており、後期基本計画期間中、新たな運動をおこすのは、社会経済情勢から厳しい状況にあると考えます。	○
11	第1回 (千代田公民館)	基本目標5 (施策38)	「いんばの玄関口、四街道」や「icobaコンシェルジュ事業」とはなにか。	JR線で印旛郡内最初の駅が四街道駅となることから「まちのコンシェルジュ四街道1丁目」という施設で、印旛郡内の市町の観光パンフレット等の情報提供を行っています。同事業は、国の地方創生事業として、印旛郡への移住情報の提供や、無料宿泊施設を完備し、本市への移住促進のため、コンシェルジュ活動を行っています。	—
12	第1回 (千代田公民館)	基本目標6 (施策43)	千葉市との合併を検討した時期があったが、その際の四街道駅周辺のJR線の高架化の話はどうなっているか。	合併を前提とした新市建設計画において、JR線の高架化の計画が含まれていましたが、合併が無くなったことから、計画はなくなっています。	—

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
13	第1回 (千代田公民館)	基本目標6 (施策45)	本日の市の参加者を見ると、全て男性である。なぜ女性の部長がいないのか。男性ばかりで検討していると、女性のための対策が疎かになる。女性の登用も必要ではないか。	女性の登用について、課長以上の管理職の1割が女性の時期もありましたが、年度によりばらつきがあります。採用自体に男性が多いほか、女性は介護等で離職する方が多くなっています。本市は、男女の待遇の格差はなく、介護離職ゼロを目指さなくてはいけないと考えています。	○
14	第2回 (四街道公民館)	基本計画 全般	基本目標に優先順位はあるのか。子育て支援、学校教育等々、数値的な目標を掲げてほしい。また、「子育て日本一」とは、どのような施策で実現するのか。	本市は、基本目標1～6に優先順位はつけていません。子育てなどの数値目標は、総合的な対応の中で進めていきます。「子育て日本一」は、例えば、こどもルームは当初より小学6年まで利用できる取り組みを進めており、待機児童については、0にするため、保育施設を増設しています。「子育て日本一」は、市民全体が目指すべき姿としての方向性を示したものです。	—
15	第2回 (四街道公民館)	基本目標1 (施策1)	少子化超高齢化社会を迎える中で、子どもに対するさまざまな施策が必要である。一方、就職・大学進学を機に子どもが転出しては、リターンが少ないという点では、どのように考えているか。四街道市に定着してもらう施策はあるか。	本市では、子育てに関する施策に予算を重点的に配分しています。小学生とのランチトークで、将来の話をしますが、市への就職希望も残念ながら少ないのが現実です。子どもが大きく育つためには、本市の枠は小さい。しかし、親は四街道市に住んでおり、四街道のことを忘れないような、故郷と思えるような教育が必要と考えており、いずれは本市に戻ってきてほしいと考えています。予算を投入しても、その成果は20～30年先であり、四街道を故郷としてもらうようなまちづくりが大切だと考えています。	○
16	第2回 (四街道公民館)	基本目標1 (施策2)	市内では、児童虐待のケースがあるのか。また、死に至るケースはあるか。	市の家庭事業の相談を受ける部署での虐待相談は平成28年で165件あります。うち85件は、児童相談所等からの照会です。相談は、虐待だけではなく、非行の相談や不登校の相談等があるが、そのような報告は受けていません。また、市内でのいじめの認知件数について、中学校では横ばい傾向、小学校では増加傾向にあります。増加の原因については、いじめが増加しているというよりは、認知件数が増加していると理解しており、兆候があったときから認知するように努力しています。	○
17	第2回 (四街道公民館)	基本目標2 (施策12) 基本目標4 (施策27)	清掃工場や市庁舎の見通しはどうなっているのか。	次期ごみ処理施設については、平成33年に稼働を目指し、現在は、生活環境影響調査を行っているところです。今後、清掃工場を造ることによる周辺の影響と対策を示す予定です。 市庁舎については、震災時の防災拠点としての整備を予定しており、平成32年度まで可能な総務省の「市町村役場機能緊急保全事業」を活用し、整備を進める予定です。	—

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
18	第2回 (四街道公民館)	基本目標2 (施策14)	四街道市は道路が狭い、道路に段差があると、道路沿いの住民が三角の乗り上げブロックを設置し、さらに道路を狭くしている。取り締まりを行ってほしい。 乗り上げブロックを市道に出しているのは、違反ではないか。該当するところは、住民に撤去させるべきではないか。一番困るのは、乗り上げブロックが、車の交互通行の邪魔になることである。	乗り上げブロックについては、通行上の危険から、設置しないよう伝えていますが、個人が設置したものもあり、撤去には至っていません。通行する方に支障が生じるほか、安全面からも指導は継続していきます。	○
19	第2回 (四街道公民館)	基本目標2 (施策14) 基本目標5 (施策34)	「ゾーン30」は、今後どのように進めていくのか。	「ゾーン30」については、舗装部の着色や路肩を広げる等の取り組みを市が行い、併せて、公安委員会が速度規制を行っています。警察との協議の中で、範囲を定め、自治会との協議を経て指定しており、生活、通学の安全性を高める取り組みとして順次進めています。	○
20	第2回 (四街道公民館)	基本目標4 (施策24)	市内にヤードや遊休地が増えている。土地の譲渡による遊休地化への対策をしているのか。	ヤードは県の管轄であり、できてしまったヤードに対しては、四街道警察主催のヤードパトロールを実施しています。警察、消防、市でヤードの内部が管理されているか、届け出どおりか、野焼きや油じみはないか等を調査し、適正に管理するようにパトロールしています。ヤードに関しては、自動車リサイクル法に基づき、県が認可しているため、今後も県と連携していきたいと考えています。	○
21	第2回 (四街道公民館)	基本目標4 (施策24)	現在、市内にヤードはどのくらいあるのか。バラ積の車が走っているが、過積載の取り締まりをお願いしたい。警察署が遠く、夜は交番に警察官の姿が見えないが、夜の防犯対策も強化してもらいたい。	市内のヤードの数ですが、自動車リサイクル法に基づくもので100か所程度です。 過積載の車は、道路交通法違反なので、警察により取り締まりができます。 四街道駅北側には、「安全安心ステーション」を整備し、21時まで警察OBが常駐しています。今後も防犯ボックスを整備するなど、防犯対策も行っていきます。	○
22	第2回 (四街道公民館)	基本目標4 (施策32)	ハツ場ダムが完成すると、どういう状況になるのか。おいしい水が無くなるのか。	ハツ場ダムについて、平成31年度に完成予定と伺っています。 事業が終了すると、暫定井戸は廃止となることから、市は暫定井戸を残してもらう方向で、県と協議を行っております。暫定井戸の存続については印旛郡市の市町で、暫定井戸の量的削減をお願いしたいと交渉しています。	○

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
23	第2回 (四街道公民館)	基本目標5 (施策33・34・35・36・37)	市民意識調査結果において、道路交通への不満が38%、住みやすいと感じている方が74%とあるが、どういう内容か。	住みよいと感じている方の理由としては、「買い物の便」「交通の便」が上位となっています。しかし、一方で住みにくと感じている方の理由も「買い物の便」「交通の便」となっています。 道路交通への不満については、その理由まではきいていませんが、参考として、自由意見の中に、「中心市街地の混雑」「国道51号へのアクセス不便」等があげられています。	—
24	第2回 (四街道公民館)	基本目標5 (施策33・34)	今後、生活道路をどのように整備していくのか。	生活道路の整備は、舗装等の不備の要望が上がってきている場所について、安全性、緊急度で優先順位をつけて、予算の範囲で整備していきます。	○
25	第2回 (四街道公民館)	基本目標6 (施策42)	シティセールスで、「四街道市はどんなまちか」と聞かれたらどう答えればよいのか。	本市は、「緑豊かな住環境で東京まで50分で行けること」「子育て支援が充実していること」の2つの特徴でシティセールスを行っています。「子育て日本一」を目指し施策を行っていますが、子どもを地域で育てる機運があると実感しており、この「市民力」が3つ目の柱ではないかと考えています。	—
26	第2回 (四街道公民館)	基本目標6 (施策43・44)	基本目標のなかに財政の健全化という目標がない。施策レベルではない、大々的に取り上げるべき。また、経営改革会議とは何か。四街道駅の再開発は凍結になったが、経営改革会議では、どのような結論になったのか。 予算管理は、達成率管理ではなく、削減率管理で行うべき。必要不可欠な事業は実施し、不必要な事業は削減するメリハリをつけるべき。	基本目標の内容は基本構想で定めております。行財政に関しては、施策の43、44が該当します。市の経常収支比率は99.7%と厳しい状況にあるため、市では、副市長をトップとした経営改革会議や行財政改革推進計画により、経常収支比率を下げる取り組みを行っています。行財政改革を進めるにあたって、四街道駅北口の再整備が凍結となった件は、検討の過程で市民へのパブリックコメントを実施し、その中で必要ないという意見が多く、市民の意見を尊重し凍結という判断に至っています。 予算の執行率については、市では3月議会で予算が決定し4月から実施されますが、執行していく過程で、入札等で執行額が固まった場合に、補正予算で予算を減額しています。このことから、当初予算ベースで執行率をみるという判断はしておりません。	○
27	第2回 (四街道公民館)	基本目標6 (施策44)	経営改革会議は、何のためにやるのか。その結論を職員にどう周知するのか。周知徹底されているのか、重要な会議の内容は、全職員に内容を知らしめる必要があるのではないか。	市では、全体会議となる庁議のあとに、部内会議を開いて、各部の職員に浸透させている仕組みとなっています。	○

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
28	第3回 (旭公民館)	基本目標1 (施策2)	子ども医療費の有料化を検討するということが、有料化するとしても最終的にやむなしというところまで、送っていただきたい。	子ども医療費助成については、保険診療の2割負担を市が負担し、市民の負担を無料にする取り組みです。四街道市のように全額負担する市町と、1回300円程度の自己負担を求めている市町があり、一部自己負担を求める市町が主流になってきています。全く負担がないことにより、頻繁に病院にかかる、いわゆる「コンビニ受診」という弊害が生じており、審議会からも指摘されているため、一部自己負担を求めることを検討しています。	○
29	第3回 (旭公民館)	基本目標1 (施策6)	公民館と老人福祉センターが来年から有料になるのは決定か。他市が有料化しているから他市に合わせるのではなく、財政が厳しいので有料化するのであれば、他市に先んじて有料化してほしい。無料化が良いとも思わない。	公民館については、貸館部分を有料化する方向で検討しています。老人福祉センターについては、有料化は検討していません。有料化については、受益者負担の考え方により進めています。	○
30	第3回 (旭公民館)	基本目標2 (施策12) 基本目標6 (施策44)	市庁舎の再整備や文化センターの建て直しが計画されているが、どの程度の耐久性を考えて検討しているのか。また、老人福祉センターを洋室化する計画は、利用者は助かる。	市庁舎の再整備や文化センターに関しては、予防保全の考え方をもとに、公共施設等総合管理計画のなかでは80年の耐用年数を考えています。老人福祉センターについては、高齢者の方の膝、腰の負担の軽減も目的の一つとし、フローリングに改修しました。	○
31	第4回 (わろうべの里)	基本目標2 (施策14)	街灯がついていない箇所がある。街灯は、自治会がつけるのかという新住民もいるので、設置してもらいたい。	防犯灯は、公共による屋外照明から30m以上離れた場所において、要望をいただいた中から、優先度の高い順に整備を進めています。	○
32	第3回 (旭公民館)	基本目標4 (施策28)	山梨地区の農地近辺は、四街道市のはずれの部分であるものの、散歩する方も多いため、散歩道の整備を進められないか。	散歩道に関して、沿道の木が道路まで伸びる、雑草等が茂るといった問題が指摘されています。民地からの樹木伐採をしてよいのか、税金で対応してよいのかという問題があり、道路に覆い被さる樹木の剪定は難しい状況です。 山梨地区は、住民総出で、水田耕作、散歩道の環境を整えていただいています。基本的には民地は個人のもので、手を出せませんが、区・自治会、民地の地主などとの情報交換・情報共有を積極的に進めていきたいと思えます。	○
33	第4回 (わろうべの里)	基本目標5 (施策36)	今後は、大規模な住宅開発はなく、中規模程度の開発が中心になると考えるが、20～25戸以上の開発に対して、公園とともに、自治会館等の用地を確保するように市から指導できないか。	市内において、今後予定される大規模開発は、今のところありません。現在、市街化調整区域での4～5件のミニ開発が多くあり、今後も、このような開発が中心になるものと考えます。 公園は、3,000㎡以上の開発において設置が必要となりますが、これ以下の開発は行政として、指導が難しいのが現状です。また、集会所の設置については、30～50戸の開発であれば、集会場用地確保の指導ができますが、ミニ開発では指導していません。	□

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
34	第3回 (旭公民館)	基本目標5 (施策38)	みそらで計画されている幹線道路の整備と大型商業施設の誘致は決定か。	成台中土地区画整理事業が51ヘクタールの区域で事業中であり、この一部の土地を商業施設事業者が取得していることから、市では、商業施設の誘致を基本姿勢として進めています。	○
35	第3回 (旭公民館)	基本目標5 (施策39)	高齢化が進み、農地の担い手が不足していることから、特に生産性の低いところにおいて、農地が荒れる傾向にある。農地は憩いの場でもあるため、荒れ地を減少させたい。また、先を見据えた農業を行うため、基盤整備をお願いしたい。	農地については、活用しやすい農地と谷津田のように活用しにくい農地がありますが、市としては農地の集約化、貸借を進めています。農地利用については、農地利用最適化推進委員、農業委員、認定農業者の方々と共に対応策を検討しています。	○
36	第4回 (わろうべの里)	基本計画 全般 財政	後期基本計画の検討をする際に、なぜ前期基本計画期間の収支の数字を示さないのか。経常収支比率99.7%の説明をしないで、後期基本計画を策定して良いのか。	本日お示ししているのは、後期基本計画の骨子案となります。案の検討には、定量的な検討と、定性的な検討の2つの方法があります。計画期間の歳入見込みの検討は、終わっていますが、今後、施策の肉付けをして、歳出見込を立てる予定です。今回のタウンミーティングは、定性的にお示し、意見を聞くという趣旨で開催しています。	○
37	第4回 (わろうべの里)	基本目標1 (施策1)	子どもが熱を出した時、病児保育ではなく、一番大切なことは親が寄り添うことだと思う。昔は、夫の給料のなかで、生活をしていたが、今はそんな状況ではないのか。	病児保育について、現実問題として、日本は労働力が不足しており、女性の社会進出が必要な状況と理解しています。女性の活躍する社会をつくるためには、病児保育は必要と考えております。	—
38	第4回 (わろうべの里)	基本目標1 (施策2)	病児保育について、何名利用できるか。下志津病院の他にはあるのか。	病児保育に関しては、中央保育所で、回復期の病後児保育を行っています。今まで、病児保育を行う場合は、2～3つのベットを常に用意する必要があり、対応いただけませんでした。本年4月より下志津病院で、病児3、病後児3の計6床の体制で開始しました。現在、病児保育については、他の病院では受け入れてもらっていません。 なお、下志津病院からは、4月末時点で登録95名、病児2名、病後児3名の利用があったと報告を受けています。また、中央保育所には、215名の登録があります。対象者の範囲としましては、下志津病院は、4月から市内在住、在勤、在園の方で、概ね1歳から小学6年までの方が利用できるように、対象者の範囲を広げています。	—

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
39	第4回 (わろうべの里)	基本目標1 (施策9)	千葉日報で四街道市は「生活保護者の人権を侵害している」と報道されていたが、生活保護者に対しては、市は毅然とした対応が必要だと思う。メディアからの批判的な意見もあったが、四街道市には、毅然とした対応をしてほしい。	千葉日報の報道は、生活保護者の窓口、「過度なギャンブル、飲酒は禁止」という旨の張り紙を出したことに対する報道です。生活保護者の中には、過度なギャンブル、過度な飲酒によって、1か月分の生活保護費を使ってしまう方がおり、市では、そういう方に寄り添って指導をしています。	○
40	第4回 (わろうべの里)	基本目標1 (施策9)	生活保護に対して、貧困ビジネスというものと聞く。自治体によっては、不労者を生活保護の対象としているが、税金が食い物とされている。毅然とした対応が必要である。福祉サービスは大変だと思うが、頑張っていたきたい。	「貧困ビジネス」は、本来、どのように自立させていくかというビジネスであるが、悪用するケースがあり、それが別の意味での「貧困ビジネス」となっています。	—
41	第4回 (わろうべの里)	基本目標2 (施策12) 基本目標5 (施策33)	都市計画道路3・3・1号線の整備が計画されているが、道路の完成予想図は閲覧できるのか。	都市計画道路3・3・1号山梨臼井線の工事完成予想図はありませんが、図面はありますので、市役所の窓口で図面を閲覧できます。	○
42	第4回 (わろうべの里)	基本目標2 (施策14) 基本目標4 (施策25) 基本目標2 (施策12)	市では、「防犯ボックス」をつくるというが、常駐者の人件費はどうするのか。これからの四街道市には、ハード整備はいらぬ。人だと思っている。 収支の数字がないので、話ができない。46施策はよいが、施策の優先順位や濃淡をつけてもらいたい。主要事業として、市庁舎の改築があるが、その他の取り組みが先ではないか。	「防犯ボックス」の常駐者には、県警のOBが務めることとなりますが、人件費の2/3を県が補助(5年間)します。できるだけ、市の負担にならないように、国の交付金や県の補助金を活用しようと考えています。 耐震工事は、小中学校、公民館は終わっており、残っている公共施設は、文化センターの会館棟と市庁舎のみです。文化センターは、平成31年度に耐震補強工事を実施するため、市庁舎が最後になります。どこの市町村も市庁舎が最後になっています。	○
43	第4回 (わろうべの里)	基本目標3 (施策19) 基本目標6 (施策43) (施策44)	キャッチフレーズとして「人 みどり 子育て 選ばれる安心快適都市 四街道」とあるが、「安心快適な街」とするべきである。 四街道市は、地味でよい。佐倉市のような歴史や、成田市のような国際性はない。四街道市の特徴は「みどり」でよい。 持続可能な社会を目指すべきで、そのための健全なまちづくり、健全な財政、規律ある財政をお願いしたい。	子どもから高齢者まで、いきいきと暮らせる持続可能な社会をめざすというご指摘かと思います。今後の参考とさせていただきます。	○

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
44	第4回 (わろうべの里)	基本目標5 (施策34)	道路管理事業について、地区から要望書を出した際に、市から「実施スケジュールに入れられない」という文書がきた。市には1,000件以上の要望があがってくるため、スケジュールが立てられないと言って来た。維持管理事業については、要望が多いことを前提として、検討してもらいたい。	道路管理事業に関しては、毎年、1,000件を超える要望が寄せられています。職員数の問題と、厳しい財政状況の中で、多くの箇所の整備は難しい状況です。全ての要望には対応できず、ご迷惑をかけていますが、改善の検討を進めていきます。	○
45	第4回 (わろうべの里)	基本目標5 (施策36)	行き止まりの道路をなくしてほしい。	市では、単なる行き止まり道路は、認めていません。しかし、回転場所のある道路については認めています。	○
46	第4回 (わろうべの里)	基本目標5 (施策38)	大型商業施設の誘致と現状についてどうなっているのか伺いたい。	成台中土地区画整理事業が51ヘクタールの区域で事業中であり、この一部の土地を商業施設事業者が取得していることから、市では、商業施設の誘致を基本姿勢として進めています。現在、出店計画を出して頂くようお願いしていますが、出店計画が頂けていないのが現状です。	—
47	第4回 (わろうべの里)	基本目標6 (施策44)	今後は税収が下がるが、10年先は、どうするのか。	基本構想で10年先を見据えていますが、市は、市債を起こして、事業を行い返済していきます。その返済計画も含めて財政計画を定めており、返済計画も長期的に見通しています。その財政計画を踏まえて、後期計画も策定していきます。	○
48	第4回 (わろうべの里)	基本目標6 (施策44)	今後、起債を新たに起こすつもりはあるか。	財源を確保する上でも、市債は発行していきます。 公共施設を借金をしないでつくる方法もありますが、例えば公園は整備すれば10年後も使います。今後市に転入される方も公園を利用するので、税負担の公平性から借金をして整備するほうが適切と考えています。	○
49	第5回 (吉岡小)	基本目標2 (施策13)	要請に対応した、近隣市からの救急車による出動を進めていただきたい。	平成27年から「ちば消防共同指令センター」としての体制が整っています。119番通報により、救命にかかわる事案について、一番早く到着する場所から出動する仕組みとなっています。鷹の台地区の事案では、平成29年度において、到着時間が本市からは12分のところ、千葉市からは5分という出動実績があります。また、鹿放ヶ丘は佐倉市から出動する体制になっています。	○

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
50	第5回 (吉岡小)	基本目標2 (施策14)	鷹の台地区への公共施設の整備について、「防犯ボックス」の整備は本当に決まったのか。交番と防犯ボックスは何が違うのか。	鷹の台地区への「防犯ボックス」の整備について、既に市議会で承認を得ており、今後、地域の方々と相談して進めていく予定です。また、「防犯ボックス」は、鷹の台地区、吉岡地区、みそら地区、旭ヶ丘地区等、広範囲を対象にした施設として、平成30年度中の整備を予定しています。 交番は、警察官が常駐するが「防犯ボックス」は、捜査権、逮捕権を持たない警察OBやボランティアが常駐し、地域の方々と協力して防犯のために活動していくことになります。	-
51	第5回 (吉岡小)	基本目標6 (施策43)	4年前に転入してきたが、子育て世代にはメリットがあり、良いまちだと思う。しかし、防犯面は問題がある。家族が交通事故にあった際、救急車到着まで時間を要した。施設整備ではなくリノベーションの時代。IoTの利用で、地域格差を無くしますといった提案をいただきたい。新しい人を呼び込むために、付加価値をつけて機能拡充ができる、などという提案をいただきたい。	地域間格差の解消などの解決に向けて、さまざまなアイデアを検討していきます。 情報化に関しても、マイナンバーの普及率が低いことがネックになっており、高ければコンビニでの証明書交付等も可能になるので、進めていきたいと考えています。	○
52	第5回 (吉岡小)	-	平成27年から近隣自治会で複合施設を要望しており、2年間、市と意見交換を行っている。市長は知っているのか。自治会で提案している6機能を持った複合施設の整備を計画に入れていただきたい。	6項目の要望につきましては、報告を受けており、コミュニティ施設を中心とした複合施設と理解しています。 また、市議会から、施設の想定について、市が検討するよう働きかけがありました。まずは住民の要望を聞くことが先と考えています。 施設の中身について、地元は「わろうべの里」を想定していると聞いておりますが、整備を進めるにあたっては、国の交付金を活用することから、地元が要望する施設の分野を具体的にお示しいただきたいと考えています。	□
53	第5回 (吉岡小)	-	以前より、6つの機能を具体的にあげて要望している。地元と市が平行線となっている。担当課長は、地元の要望を理解しているはずである。市は、公民館の整備は分館でも考えていない、コミュニティセンターの整備にはかかわらないと言っている。残る選択肢は、福祉施設しかない。政策推進課と担当課でどのような施設整備が可能か協議して進めるのが筋。地元は、どんな補助金があるかなどはわからないので、言えといわれても困る。	本市としましては、自治会に、施設の想定を詳しくお示しいただきたいと考えています。補助金の種類を求めているわけではなく、本市で検討するための材料になる情報をお示しいただきたいということです。	-

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
54	第5回 (吉岡小)	-	<p>基本目標2「安全・安心を実現するまち」とあるが、信頼あるまちを目指すべきと考えている。職員の防災能力を高めるための具体的な方法はない。</p> <p>表現として「いきいき」「うるおい」等を使用しているが、アバウトな表現で、施策上の文言ではない。何が欲しいかは明確である。超高齢社会に向けて、交流の場が必要と考えている。交流の場となる施設が欲しい。受益者負担と言うが、税の公平性、行政の公平性が保たれることが前提である。</p>	<p>職員の防災能力を高めることにつきましては、職員が、市民の前で防災に関する出前講座を行い、地域の防災力を高めていきます。そのためには、まず職員の防災能力を高めていくことが必要と考えています。</p> <p>本日は、定性的な議論をさせていただいています。「いきいき」「うるおい」等の表現につきましては、基本構想の目標で、議会での審議、タウンミーティング等での市民意見も聞いた上で策定しています。方針を示しているものであること、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>交流拠点が重要ということですが、コミュニティセンター、公民館、老人福祉施設等、地元からのご提案を頂きたいと考えています。</p>	□
55	第5回 (吉岡小)	-	<p>施設があれば、地元が多目的に使う。施設があれば、災害時に市民が集まっているいろいろな活動ができる、平時であれば見守り等の活動ができる、そのような活動を市と市民がタッグを組んで行いたい。施設の名称として「〇〇」とは言えない。</p> <p>市は、財政危機で、一般財源は出せないと言う、また、受益者負担というが、新設だけでなく、改良や維持する方向で、信頼を高めていく方法を、みんなで考えていく方法もある。</p>	<p>前期基本計画期間中に鷹の台地区にある公共用地を活用し、保育所や集会施設を備えた防災備蓄倉庫(防災センター)をつくることをご相談するなど、行政から市民の皆さんに対して、働きかけをしていないわけではありません。</p> <p>議会の中で、保育所や防災備蓄倉庫以外のコミュニティ施設というお話がありましたので、ご意見を頂いて検討させていただきたいとお話させていただいたところです。</p>	□
56	第5回 (吉岡小)	-	<p>鷹の台公園に管理事務所があり、人が常駐し、住民票と戸籍謄本等を届けてもらうシステムがあるが、その機能を拡充してくれとっているが、伝わっているのか。具体的な要望は知らないというが、行政の中の意思疎通ができていないまちだと思う。大問題である。部長が市民の要望を市長に伝えているか疑問である。人を配置するだけで、申請書を集めて、市にもっていってもらうシステムを充実させたらどうか、金はかからない。</p>	<p>市は、厳しい財政状況を改善するため、第8次行財政改革推進計画を策定中であり、業務の見直しや施設の有料化などを検討しています。市役所業務の効率化についてのご意見と思いますが、計画に基づき推進していく必要があると考えています。</p>	□

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
57	第5回 (吉岡小)	-	基本目標1、3、6のビジョンは素晴らしい。しかし、住民の視点に立っているのか懐疑的である。地域に拠点がなければ何もできない。市は催し物をやっているが、定着しない。公共施設がない。鷹の台地区は、市役所から時間がかかる。だれもが気軽に利用できる施設というが、気軽にいけない。旭公民館も遠い。国道51号以南は不公平である。財政逼迫はどこの市でも同じである。	ご提案いただいた機能については、市においても把握しています。しかし、多目的な施設を建てれば自動的に利用していただけると、そういった考え方で施設を建てることはできないことから、例えば、ラウンジはどういうものかなど具体的な内容で議論を進めていただきたい。	□
58	第5回 (吉岡小)	-	地元で提案した6機能を発表する。行政窓口の拡充、福祉関連業務、多目的ホール、会議室、ラウンジ、非常用備蓄倉庫である。これが何なのか、公民館なのかはわからない。年齢性別を問わず使える施設をつくってほしい。		□
59	第5回 (吉岡小)	-	基本目標3に関して、旧吉岡分校の跡地をリフォーム等をして、皆が利用できる施設、伝統工芸を磨く施設等、里山を再生していく拠点という考えはあるか。	旧吉岡分校は、旧校舎で耐震性が低くなっており、安全面から現在は倉庫として活用しています。清掃工場関連の話合いで、吉岡分校の活用を検討しており、吉岡区からご意見をいただいています。	○
60	第5回 (吉岡小)	-	6か所のタウンミーティングでは、地区に沿った話をしていただきたい。公民館の有料化の話があったが鷹の台地区には公民館はない。総合計画の中で、鷹の台地区をどうするのかを示していただきたい。防災施設やコミュニティ施設について、市の考え方をいただきたい。	鷹の台地区に関しては、吉岡分校の取り扱いや、自然環境をどう活かすか、旭中の通学路の問題、学区をどうするか等を検討していきたいと考えております。 前期基本計画では、公共施設用地への保育所設置を予定しています。千葉市との連携により千葉市の保育所を利用することができますが、市内での保育所設置を検討しています。 防災備蓄倉庫については、和良比の防災センターのように、いざというときにシャワーを使える機能等も備えて、70人程度収容できるスペースの確保を検討しています。平成27年にタウンミーティングを行っておりますので、地元自治会の意見を聞いて計画を見直し、後期基本計画への位置付けを予定しています。公共施設の新設に関しては、施設の目的によって財源が異なるため、自治会より具体的な要望を取りまとめていただいてから検討させていただきたいと思っております。 鷹の台地区から旭中への通学路はまだ不十分であり、吉岡十字路を改良したものの、さらにどう整備するか検討しています。	○

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
61	第6回 (四街道市役所)	基本目標1 (施策1)	保育所について、市では、兄弟を同じ保育所にする配慮がされているか。市外保育所からの転所の場合、行政相互の連携をとり、その子の情報を円滑に得ることはできないか。	兄弟で、同じ保育所に入る場合は、入所審査の指数加算があります。他にも加算が定められており、指数に基づき優先順位を定めるため、必ずしも兄弟で同じ保育所に入れるとは限りません。 転所時の保育所間の連携に関しては、市内保育所に対応を確認します。	○
62	第6回 (四街道市役所)	基本目標1 (施策1)	保育所において、他の保育所に通っている子どもを、いきなり1日見てくださいますかということも可能なのか。		—
63	第6回 (四街道市役所)	基本目標1 (施策1)	基本目標1施策1の病児病後児保育事業が、4月から実施されているようだが、活用した人数や周知はどうか。	病児病後児保育事業の利用者は、4月末時点で事前登録者95名、利用者は病児保育で2日2名、病後児保育で2日3名です。PRは、市内保育所に案内しました。また、市内のこどもルーム利用の方にも、案内をする予定です。中央保育所で実施していた事業に比べ、対象者を小学生まで拡大し、市内在住に加え、在勤、在園の方も可能としました。	—
64	第6回 (四街道市役所)	基本目標1 (施策7・8)	健康診断について、C型肝炎検査の無料実施をPRしている他市の事例をきいた。四街道市においても、別の費用を減らしても考えても良いのではないかと。国の指針を超えてやっても良いのではないかと。	現在までに、前立腺がん予防検査、胃がんの検査等の要望がありますが、国の指針に基づいて、安全性が保たれているか確認した上で行っています。C型肝炎検査の導入検討はしておりませんが、肝炎ウイルス検査を無料で実施しており、C型肝炎検査受診者は対象から除いています。予防接種が良いと思っても、後遺症の問題もあり、市町村でそのリスクはわからないため、あくまで国の指針に基づいて実施します。	□
65	第6回 (四街道市役所)	基本目標3 (施策16)	小学校の英語教育について、教員の増員等の件で教育委員会と話し合いの場がほしい。	教師や講師は、千葉県教育庁が配置しています。本市は講師が多いが、少人数指導をするために、一部、市の教育委員会が採用して加配しています。年度末などに発生する急な学級数の増減に、県採用だけでは対応できない可能性もあるため、今後も検討が必要であると考えています。	○
66	第6回 (四街道市役所)	基本目標3 (施策22)	基本目標3施策22のガス灯ロードレース大会について、ボランティアとして参加しているが、素晴らしい大会である。同時期に、他地域でもロードレース大会があり、参加人数も減ってきているが、継続していただきたい。今後どうしていくのか。	ガス灯ロードレースについては、20回開催しています。計画段階から市民参加をいただいています。毎年数千人の参加があり、障害がある人もない人も利用できる全国でも珍しい大会であり、この大会に参加していた岡村さんが、リオ・パラリンピックで銅メダルをとったことは誇りに思います。小中学生が1,000人以上参加するのも、近隣にはない大会です。近年は常に赤字になっており、継続していくためには、赤字の解決が必要になっているため、。市民の皆さんと、赤字をどう無くすかを考えていきたいと思います。	○

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
67	第6回 (四街道市役所)	基本目標6 (施策4.4)	基本目標6にある行財政改革推進事業に関する公民館の有料化について、各公民館での説明会は、登録団体が対象ということだが、話が唐突である。説明会は、団体2名以内とあるが、なぜ団体だけを呼ぶのか。スケジュールはどうなっているのか。	第7次行財政改革推進計画においては、使用料手数料の適正化、貸館有料化も検討するとしています。また、第8次行財政改革推進計画の策定においては、行財政改革審議会から中間答申を頂き、公民館の貸館の有料化の検討を進めているところです。市民の方にとっては唐突に感じることもあるかと思いますが、今回の各地区でのタウンミーティングでも話はしており、多くの市民にご意見をいただきたいと考えています。	○
68	第6回 (四街道市役所)	-	市の庁舎の改修問題について、障害者自立支援協議会や障害者福祉団体連絡協議会の意見も聞いてもらいたい。保健福祉審議会委員として参画していたが、非常に対象範囲が広い。高齢者福祉計画、障害者福祉計画の見直し時に専門部会が開かれる。 児童福祉に関して、子ども・子育て支援会議が設置されたが、子どもプランの改定時には、この会議に諮問してほしい。障害者福祉計画については、障害者自立支援協議会や障害者福祉団体連絡協議会に諮問してほしい。高齢者福祉については、地域支え推進会議に諮問してほしい。保健福祉審議会には、高齢者、児童、障害者が横断的にかかわる健康よつかいどう21プラン、地域福祉計画等を集中的に審議する機関にできないか検討していただきたい。	庁舎整備に関しては、現在、ワークショップを開催し、市民意見の把握に努めています。障害者等への配慮については、基本計画のなかで、すべての人に優しい庁舎とする方針を示しており、配慮していきます。保健福祉審議会は、年間3～4回開催し、障害者福祉計画等の改定にあたっては、保健福祉審議会のほかに、障害者自立支援協議会でも2回ほど会議を行いました。 本市は、総合計画を最上位計画とし、その下に地域福祉計画があり、その下に障害者基本計画、障害者(児)福祉計画、こどもプラン等ありますが、こどもプラン等については、新たな組織があるので、諮問等については今後検討していきます。	○
69	第6回 (四街道市役所)	-	有料化は公民館のみが対象か。「わろうべの里」は対象に入るのか。パブリックコメントは実施するのか。	公民館の貸館の有料化は、来年4月から実施予定としており、「わろうべの里」の貸館部分、「鹿放ヶ丘ふれあいセンター」も対象としています。総合福祉センターは有料化の対象とはしていません。	-
70	第6回 (四街道市役所)	-	保健福祉審議会の委員だが、検討範囲が広く、内容がよくわからないままに進んでいる。公民館の有料化に関して、有料化によって財源がどのくらい増えるのか。	各分野に審議会を設置し、連携しながら計画を策定しています。各種団体との意見交換に加え、タウンミーティングのように、市民から直接意見をいただきたいと考えています。公民館に関しては、印旛郡市内で貸館が無料なのは、四街道市のみとなっており、9万3千人の小さなまちなので、細かい分野についても、市民と直接的な意見交換を行いたいと思います。 公民館の貸館を有料化した場合の財源は、年間2千万円程度と試算しています。	-

NO.	回 会場	意見の 対象箇所	意見の概要	市の考え方	区分
71	第6回 (四街道市役所)	-	大日病院がなくなり、徳洲会病院が引き継ぐと聞か、救急病院の指定も変わるのか。	本市と大日病院は、健診等も連携しており、閉院となっても影響が出ないよう協議しています。個別に調整しているところです。	-